



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

YMCAサービス・ユース事業通信 No.1

《2014年7月3日発行》

2014-2015年度 YMCA サービス・ユース事業主任
藤本義隆(阿蘇クラブ)



皆様、はじめまして。今期YMCAサービス・ユース事業主任を担当します。

九州部 阿蘇クラブ 藤本義隆です。現在30歳で、家族は妻ともうすぐ3歳になる息子がいます。

ワイズ歴は、7年と未熟ですが、18歳からYMCAでリーダー活動を始め現在もどんぐりリーダーとして活動しています。

23歳でワイズに入会し、会長や部の主査も経験しました、そして、クラブでもさまざまな活動がありますが、主にYサ・ユースの活動に力を入れてきました。これまでの自分の経験を活かして、頑張りたいと思います。1年間よろしくお願ひします。また、ご協力宜しくお願ひ致します。

まずは、事業通信・第1号なので、今期の方針・計画・報告です。

◎ 主題

「YY(Y)共に成長していく未来の為に。～今、わたしに出来る事～」

今、自分に出来る事は、ユースとワイズの架け橋になる事だと思います。

今期は、未来の為に、YMCA、ユース、ワイズのさらなる成長を主題に頑張ります。

◎ 事業方針

①YMCAサービス・ユース事業の目的と意義を広くわかりやすく伝え、新しい企画にYサ資金を活用。

また、献金の重要性を理解して頂き、献金目標の達成を実現する。

②YMCAが希望する支援を的確に把握し、積極的にサポートする。(Yサービス・Y理解)

③若者(ユース・学生YMCA)に目を向ける。対話の場を設ける事でワイズの壁を低くするプログラムの推進。(ユース理解)

④各地で広まりつつあるユース支援を具体化できるように支援するとともに、ユース組織の設立を支援する。

(ユース支援)

⑤目的を持ったYY(Y)フォーラムの開催とリーダーとの交流を(例会・感謝会・ワークなどを通して)行う。

⑥ユースリーダーが社会に出てからもYMCAに繋がり、関われるようなシステム、そして将来ワイズメンになる仕組みの構築。

と、方針を掲げました。この中で自分が一番重視している項目は、③のユース理解の箇所です。若者(ユース)と言っても、若者一人一人はそれぞれ違った考えを持っています。将来を見据えている人や希望を持った人、その一方、まだ将来を決めきれないでいる人、不安がある人、将来に希望を持ってない人。ワイズメンは、その若者たちへ寄り添い、見つめ、対話し、理解をしましょう。そして、良きメンターとなり、そこに成長があるはず。その為にまずは、共にボランティアやワ

ークをする事で、汗を流し話し会話しワイズの壁を低くしましょう。

そうする事で、YMCAサービスを行いながらユース支援や⑥に繋がります。

また、今後の事業通信では、各部や各クラブのYサ・ユースの活動をたくさん紹介して行きたいと思います。

◎ 事業計画

- ①ワイズが積極的にYMCAの活動に参加し支援する。
- ②Yサ・ユース事業を紹介し、クラブにおいてユース支援が身近になるようにサポートする。
- ③YY(Y)フォーラム開催のための立案サポート(テーマの統一。内容は自由)。
- ④アジア大会(京都開催)のユースコンボケーションに多くの若者を送り出す。(目標は各部2名以上)
- ⑤Yサ・ユース献金の目標を2,000円/人とし、献金ゼロクラブをなくす。

◎ 事業委員会報告

6月29日(日)に、クライトンホテル新大阪にて、第1回事業委員会を開催しました。委員会メンバー3人に西日本区から理事の松本様、会計の豊島様も参加されました。

主な内容は、事業引き継ぎ、2014-2015期の方針計画の共有、区大会に向けての協力、そしてIYC(インターナショナルユースコンボケーション)AYC(アジアユースコンボケーション)の協議も行いました。

また、午後からは正野主任の最後のお役目で、IYCオリエンテーションを開催しました。IYC参加者5名のうち3名が出席され、英語での自己紹介やYC(ユースコンボケーション)参加経験者の上杉さん(京都)からお話をいただきました。2時間のオリエンテーションでしたが参加者のモチベーションをより一層高められるものとなりました。最後にAYR(地域代表)として参加せれる沖麻実さんが参加への意気込みとIYCを通して世界とのかかわりやその経験をいかし、AYC京都へ繋がるように実りあるものを持って帰りたいと、力強い発言がありました。Yサ・ユース事業では、このように世界を見つめ、社会を変えていけるような若者(チェンジ・エージェント)を応援、支援して行きたいと思います。

今回参加される、5名の方のそれぞれの報告会を各部、各クラブで企画されると思いますが、彼ら彼女らの想いを受け取ってください。また、直接聞く機会がない方もいると思います。帰国後に全体の報告会を予定しています、5名の日程の調整が出来次第ご案内いたします。

◎ 最後に

・各クラブ会長の皆様 及びYサ・ユース委員の皆様

今期に新たなYMCAサービスやユース支援を行う際の費用がかかる場合は、積極的にYサ資金を申請ください。ただし、注意点としまして、事前申請をお願いします。また、審査の時間もありますので1週間から1ヶ月前の申請を心がけてください。迷われる際は申請の前に気軽に相談ください。

・各部の主査の皆様

各部にお願いしてあります、YY(Y)フォーラムの実施にあたり、部長さんと相談のもと実施日時、場所、内容を(案)で構いませんので、連絡ください。共通テーマとして、「未来」を意識した内容を盛り込んでいただくと嬉しいです。もちろん強制ではないので、各部の多彩な内容を楽しみにしております。

YMCAサービス・ユース事業主任 藤本義隆